

第14回茨城急性期チーム医療研究会

つなぐ、命のバトン。 チーム医療の質は「申し送り」で決まる。

急性期から生活期まで切れ目のない医療を実現するためには、
“伝わる申し送り”が欠かせません。

今回は、集中治療後症候群（PICS）予防の観点からも重要性が高まる「ABCDEFGHバンドル」のFGHに焦点を当て、
現場で明日から使える「良好な申し送り」の実践を深めます。



日時

2026年3月20日 金 10:00～12:00

場所

筑波大学附属病院 桐の葉モール講堂（桐の葉モール2階）

〒305-8576 茨城県つくば市天久保2丁目1番地1

参加費

500円

申し込み

QRコードより、申し込みフォームへ
アクセスしてください。



- ・グループワーク1 「急性期と生活期の連携に必要な情報」
- ・グループワーク2 「PICS予防のための必須申し送り」
- ・講演 「ABCDEFGHバンドルにおけるFGHの実践」

座長:丸山 剛 (筑波大学附属病院 リハビリテーション部)

講師:大内 玲 (茨城キリスト教大学 看護学部 准教授)

お問い合わせ

茨城急性期チーム医療研究会事務局 羽鳥 E-mail:smtai.geh@gmail.com